



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'90秋
48

も く じ

あ い さ つ	村井会長	1
平成2年第1回総会		2
役 員 会		9
役員会、分会長・各支部長会クラス幹事会		10
第36回会員大会		12
分会支部だより		16
クラス幹事だより		19



母校創立80周年を迎えて 更に一層の団結を

大阪歯科大学
兵庫県同窓会長

村井俊郎

明治43年に創設された母校大阪歯科大学は、
来年80周年を迎える。

近代歯学がわが国に導入されたその頃から明
治・大正・昭和・平成と四代にわたる長い星霜
の中で、わが母校は1万名を越える卒業生を社
会に送り出してきた。

この間幾多の先覚者、先輩各位と関係者のご
努力によって歯学教育機関の名門校としての評
価が確立されるに至っている。

歯学は関連科学の進歩と相呼応しながら、今
日目ざましい発展を遂げているが、これにとも
なう大学の教育についても、優れた教員陣と整
備された設備によって精密な教育が行われ、今

日わが国歯科界の中に立派な人材を輩出してい
ることは喜ばしい次第である。

平成3年5月31日には記念式典が挙行される
が、翌6月1日には同窓会の全国会員大会が開
かれる。

このため例年行っている兵庫県同窓会の会員
大会は平成3年度は開催を行わず、この全国大
会に結集することに決定している。

80年という大きな節目を迎えるに当たって、
益々母校の隆盛をはかるための支援に努力する
とともに和やかで仲の良い兵庫県同窓会の団結
を更に前進させたいものであります。

平成元年度決算、平成2年度予算案を可決

平成2年度 第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会総会

平成2年4月7日(土)午後4時



平成2年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会総会は、平成2年4月7日(土)午後4時より兵衛会館5階ホールで開催され、第1号議案平成元年度収入支出補正予算から第4号議案までを原案通り可決すると共に第36回会員大会につき協議した。

総会は志築専務の司会により小田副会長が開会のことばを述べた後、議長に伊藤副会長を選出、議事録署名人に、赤井崇郎(専門29回)、一瀬健二(大6回)を指名し、村井会長の挨拶にうつった。

《村井会長挨拶》

3月23日に平成2年度大阪歯科大学の予算等を審議する評議員会が開催され、その時大学当局より大学の現況について報告されたのでお伝えしたい。

現在教職員の総数は教員が262名、職員が221名、合計483名である。また毎回の評議員会で話題になるのであるが、大学では教育はみっちり教育することが大切であるので教員の数が多

いか、少ないかは見解の分れる所であるが、職員の方は少し多いのではないかと指摘されている。

現在29の歯科大学で歯科医師過剰時代に対応するために平成元年度の入学者から20%削減ということになったのであるが、大阪歯科大学の場合、定員160名であるから20%削減して128名しか入学させることが出来ない。

一番入学者の多かった時には1学年250名位の時があったわけで、その時代から考えると半分位の入学者になるので授業料収入は半分になるわけで大学としては非常に経営に難しい時代を迎えている。経費の中で一番多い経費は人件費でこれから経営を合理化して行く上で、人件費を削減することが一番大きな問題になって来る。

しかし、給与の額そのものは決して高すぎるということはないので、良き人材を確保するためにも個々の給与の高はそのままにして、全体の総支出の中で人件費の割合を低くすることが大切である。給与は高く、人件費率は低くというのが経営の根幹である。そうすると少数



〈挨拶する村井会長〉

精鋭主義でないといふ目的を達成出来ない。大学もこれに努力して補充人事は出来るだけせず職員を切りつめて努力している。

学生の数は入学者削減の効果が出て来て、大学当局には厳しい状況になって来ており、学生数は957名であり、非常に少なくなって来ている。大学院は81名である。957名の学生の教育に521名の教職員が携わるわけで、徹底した教育が行われていると言えると思います。

平成2年度の学校の経営であるが、収入支出とも122億6000万円である。その内訳は学生納附金44億6300万円、資産運用収入が約30億、事業収入これは附属病院収入であるが15億3600万円、文部省の補助金が8億円でこれは私立歯科大学の中では多い方である。

支出は給与が49億円、教育研究費が18億5400万円、その他の一般管理費が3億7000万円で、現在健全経営である。

それから平成3年5月31日(金)大阪歯科大学創立80周年記念式典が天満の講堂で行われる。ここで慰霊祭のみ行い、会場の関係で大花園で記念式典と祝賀会を行います。6月1日

(土)同窓会の全国会員大会がホテルニューオオタニで行う予定である。

《学位受領者表彰》

氏名	卒回	地区名	受領日
石田 寿夫	大24	多紀郡	平成元年6月28日
嘉ノ海龍三	大25	姫路市	平成元年9月27日
武内信二郎	大26	佐用郡	平成元年12月20日
垣内 英也	大24	宍粟郡	〃
松井 良生	大33	西宮市	平成2年3月24日
橋本 浩史	大34	西宮市	〃
西原 五郎	専27	播磨	平成2年3月28日

平成2年度は以上7名の会員が学位を受領された。村井会長より表彰状と記念品が贈られ、受領者を代表して西原五郎先生から謝辞があった。



〈村井会長より表彰状を受ける学位受領者〉

《報告》

1) 会務報告

志築専務

物故会員

氏名	地区	卒回	年齢	死亡年月日
藤尾 豊	東灘区	大8	54歳	H元年4月5日
久保 英生	尼崎市	大35	27歳	H元年6月14日
寺田 完治	揖 竜 専	17	76歳	H元年6月16日
合田 年嗣	播 磨 医		94歳	H元年8月1日
英 次郎	姫路市	京城	76歳	H元年9月16日
中塚 博美	中央区	専27	66歳	H元年10月8日
竹島 松籟	須磨区	専6	85歳	H元年10月22日
飯島 謙治	西宮市	大21	41歳	H元年11月1日
上田 富雄	長田区	専30	81歳	H元年11月23日
鷺野 礼賢	西 区	専17	74歳	H元年11月30日
佐本 進	中央区	大10	54歳	H2年2月28日

以上11名の物故会員の先生方の霊に弔意黙禱を行った。

諸会議 平成元年4月8日 役員会

4月8日 総会

7月11日 役員会、分会長、

支部長、クラス幹事会

平成2年2月24日 役員会、分会長、

支部長、クラス幹事会

会員数 (平成2年2月28日現在)

神戸分会	東灘支部	71名
〃	灘支部	61
〃	中央支部	122
〃	兵庫支部	63

神戸分会	長田支部	56名
〃	須磨支部	46
〃	垂水支部	42
〃	北支部	43
〃	西支部	15
〃	明石支部	63
〃	三田支部	11
尼崎分会		177
西宮分会		181
摂津分会	伊丹支部	37
〃	川西支部	28
〃	宝塚支部	54
〃	芦屋支部	33
播磨分会	三木美囊支部	15
〃	小野加東支部	12
〃	西脇多可支部	15
〃	加西支部	10
〃	播磨支部	64
〃	姫路神崎支部	131
〃	揖竜支部	16
〃	宍粟支部	10
〃	西播佐用支部	28
丹波分会	多紀支部	12
〃	氷上支部	17
但馬分会	南但支部	12
〃	北但支部	18
〃	美方支部	2
淡路分会	洲本支部	16
〃	津名支部	12
〃	三原支部	13
	合計	1,506名

事業報告

○第35回会員大会

平成元年8月5日(土)午後3時

ホテルオークラ神戸 参加人員 681名

○学術講演会

日時 平成2年2月24日(土)午後2時

場所 兵庫県歯科医師会館 5階ホール

演題 「顎関節症の診断と治療」

講師 大阪歯科大学歯科補綴学第2講座

教授 川添堯彬氏

表彰

○日本歯科医師会有功章

竹谷三省 平成元年9月21日

○勲五等双光旭日章

岡田一三 平成元年11月3日

2) 会計報告 三坂常任理事

3) 本部報告

1. 会員数 10,024名(平成2年2月現在)

(平成元年入会者 157名)

物故者 95名)

2. 副会長委嘱について

12月1日付 山岡昭教授(専28)に副

会長を委嘱された。

(西浦副会長の後任)

《議事》

第1号議案 平成元年度収入支出補正予算

第2号議案 平成元年度収入支出決算

ここで内海監事より監査報告がなされた。

第3号議案 平成2年度事業計画及び平成2

年度収入支出予算

第4号議案 会費の額及び徴収方法について

以上いずれも可決された。

《協議》

1) 第36回会員大会について

当番分会の竹谷淡路分会長より、8月11日

(土)開催される第36回会員大会の説明があ

った。600名の参加を予定しているので多数

参加いただきたいとの要請があった。

2) その他 志築専務より今回退官された笠原

義人先生に大歯同窓会として慰労の気持を差

し上げたく思っている。近日中に趣旨書をお

送りするのでご協力いただきたいと説明があ

った。

第1号議案 平成元年度収入支出補正予算

平成元年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出補正予算書

(自 平成元年4月1日
至 平成2年3月31日)

収 入 額 19,648,268円
支 出 額 19,648,268円

収 入 の 部

科 目	補 正 予 算 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	17,016,000	17,640,000		624,000	
第1項 会 費	17,016,000	17,640,000		624,000	
第二款 雑 収 入	1,577,000	1,601,000		24,000	
第1項 雑 入	30,000	30,000			
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本 部 手 数 料	1,546,000	1,570,000		24,000	
第三款 繰 越 金	1,055,268	1,000,000	55,268		
第1項 繰 越 金	1,055,268	1,000,000	55,268		
合 計	19,648,268	20,241,000		592,732	

支 出 の 部

科 目	補 正 予 算 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,500,000	5,400,000	100,000		
第1項 事 務 費	2,150,000	2,000,000	150,000		
第2項 旅 費	960,000	1,200,000		240,000	
第3項 通 信 印 刷 費	1,990,000	1,800,000	190,000		
第4項 消 耗 品 費	300,000	300,000			
第5項 雑 費	100,000	100,000			
第二款 会 議 費	3,100,000	3,000,000	100,000		
第1項 会 議 費	3,100,000	3,000,000	100,000		
第三款 事 業 費	10,623,000	11,500,000		877,000	
第1項 学 術 費	370,000	500,000		130,000	
第2項 広 報 宣 伝 費	672,000	1,000,000		328,000	
第3項 福 祉 厚 生 費	2,310,000	3,000,000		690,000	
第4項 会 務 連 絡 費	1,201,000	1,500,000		299,000	
第5項 表 彰 慶 弔 費	890,000	1,000,000		110,000	
第6項 諸 見 舞 金	1,560,000	1,000,000	560,000		
第7項 渉 外 費	2,620,000	2,000,000	620,000		
第8項 時 局 対 策 積 立 金	1,000,000	1,500,000		500,000	
第四款 予 備 費	425,268	341,000	84,268		
第1項 予 備 費	425,268	341,000	84,268		
合 計	19,648,268	20,241,000		592,732	

第2号議案 平成元年度収入支出決算

平成元年度 大阪歯科大学兵庫同窓会収入支出決算書

(自 平成元年4月1日
至 平成2年3月31日)

収 入 額 19,634,661円
支 出 額 19,185,184円
差 引 収 支 差 額 449,467円

収 入 の 部

科 目	本 年 度 本 算 額	本 年 度 補 正 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	17,006,000	17,016,000		10,000	
第1項 会 費	17,006,000	17,016,000		10,000	
第二款 雑 収 入	1,573,393	1,577,000		3,607	
第1項 雑 入	27,393	30,000		2,607	
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本 部 手 数 料	1,546,000	1,546,000			
第三款 繰 越 金	1,055,268	1,055,268			
第1項 繰 越 金	1,055,268	1,055,268			
合 計	19,634,661	19,648,268		13,607	

支 出 の 部

科 目	本 年 度 本 算 額	本 年 度 補 正 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,491,179	5,500,000		8,821	
第1項 事 務 費	2,150,000	2,150,000			
第2項 旅 費	958,360	960,000		1,640	
第3項 通 信 印 刷 費	1,989,093	1,990,000		907	
第4項 消 耗 品 費	290,883	300,000		9,117	
第5項 雑 費	102,843	100,000	2,843		
第二款 会 議 費	3,095,318	3,100,000		4,682	
第1項 会 議 費	3,095,318	3,100,000		4,682	
第三款 事 業 費	10,598,697	10,623,000		24,303	
第1項 学 術 費	363,077	370,000		6,923	
第2項 広 報 宣 伝 費	671,990	672,000		10	
第3項 福 祉 厚 生 費	2,303,673	2,310,000		6,327	
第4項 会 務 連 絡 費	1,201,000	1,201,000			
第5項 表 彰 慶 弔 費	883,616	890,000		6,384	
第6項 諸 見 舞 金	1,560,000	1,560,000			
第7項 渉 外 費	2,615,341	2,620,000		4,659	
第8項 時 局 対 策 積 立 金	1,000,000	1,000,000			
第四款 予 備 費	0	425,268		425,268	
第1項 予 備 費	0	425,268		425,268	
合 計	19,185,194	19,648,268		463,074	

平成元年度
財産目録
(平成2年3月31日)

大阪歯科大学兵庫県同窓会
(単位：円)

科目	取引銀行	金額
(1)一般会計 普通預金	太陽神戸銀行 兵庫支店	449,467
(2)時局対策積立 金 定期預金	太陽神戸銀行 兵庫支店	3,042,240
(3)備品	トランシーバー 4台	

第3号議案 平成2年度事業計画及び
平成2年度収入支出予算

平成2年度
事業計画

1. 会員の学術研修に関する事項
2. 会員の福祉共済に関する事項
3. 第36回大歯大兵庫県同窓会会員大会の開催
4. 慶弔に関する事項
5. 会報の発行
6. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
7. 渉外に関する事項
8. その他目的達成のために必要な事項

第4号議案 会費の額及び徴収方法について

会費の額 年額12,000円(2回)

徴収方法 社保診療報酬から差し引く



第3号議案 平成2年度収入支出予算

平成2年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出予算書

(自 平成2年4月1日
至 平成3年3月31日)

収 入 額 19,040,000円

支 出 額 19,040,000円

収 入 の 部

科 目	本 年 度 額	前 年 度 補正予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	17,040,000	17,016,000	24,000		月1,000円×12ヵ月×1,420名
第1項 会 費	17,040,000	17,016,000	24,000		
第二款 雑 収 入	1,551,000	1,577,000		26,000	
第1項 雑 入	30,000	30,000			預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,520,000	1,546,000		26,000	10,000円×1,420名×10% 本部より過年度分100名含む
第三款 繰 越 金	449,000	1,055,268		606,268	
第1項 繰 越 金	449,000	1,055,268		606,268	
合 計	19,040,000	19,648,268		608,268	

支 出 の 部

科 目	本 年 度 額	前 年 度 補正予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	4,550,000	5,500,000		950,000	
第1項 事 務 費	2,150,000	2,150,000			
第2項 旅 費	1,200,000	960,000	240,000		
第3項 通信印刷費	800,000	1,990,000		1,190,000	
第4項 消耗品費	300,000	300,000			事務用品
第5項 雑 費	100,000	100,000			
第二款 会 議 費	3,000,000	3,100,000		100,000	
第1項 会 議 費	3,000,000	3,100,000		100,000	役員会・常任理事会
第三款 事 業 費	11,000,000	10,623,000	377,000		
第1項 学 術 費	500,000	370,000	130,000		
第2項 広報宣伝費	1,000,000	672,000	328,000		会報発行
第3項 福祉厚生費	3,000,000	2,310,000	690,000		
第4項 会務連絡費	1,500,000	1,201,000	299,000		幹事会
第5項 表彰慶弔費	1,000,000	890,000	110,000		
第6項 諸見舞金	1,000,000	1,560,000		560,000	@20,000×50名
第7項 渉外費	2,000,000	2,620,000		620,000	
第8項 時局対策積立金	1,000,000	1,000,000			時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	490,000	425,268	64,732		
第1項 予 備 費	490,000	425,268	64,732		
合 計	19,040,000	19,648,268		608,268	

自然増は予備費へ繰入

平成2年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会は、平成2年4月7日(土)午後3時30分より兵衛会館5階ホールで開催された。

役員会は志築専務の司会により小田副会長が開会のことばを述べた後、議長に伊藤副会長を選出、議事録署名人に、中森康二(専30回)、岡田利郎(大4回)を選出し、村井会長の挨拶にうつった。

《村井会長挨拶》

3月3日に大阪歯科大学同窓会本部の総会が開催されました。今年は任期満了の年ですので次期役員の選出が行われたわけでありす。その結果、総会に付議する役員選出は会長、監事の2つであります。会長には前同窓会長の奥野喜一氏が再選され、監事には兵庫県の津島大麓先生、京都府の川上康男先生の2人が留任ということで決定しました。

会則に従い副会長、常任理事、理事等の委嘱が行われ3段階になったわけでありす。一昨日会長指名により役員が決定した。本日お集りの先生方の中にも委嘱状が送られて来た先生もあると思われるが、兵庫県でも今回40名の方がご就任になった。2年間よろしく願いたい。

なお3月23日に大阪歯科大学の学校法人の評議員会があって平成2年度の予算の審議が行わ

れた。これらの内容については総会でご報告したい。

《報告》

- 1) 会務報告 志築専務
総会で報告する。
- 2) 会計報告 三坂常任理事
年度が始まって7日間であるので報告する事項はない。
- 3) 本部報告 志築専務
総会で報告する。

《協議》

- 1) 総会開催について
総会日程につき志築専務より説明があった。第1号議案の平成元年度の補正予算は会費を会員の実数により補正したのと、時局対策費の減額が目的である。その他今度笠原義人先生のご退官に対し記念品を贈呈する趣旨の説明があり了解された。
- 2) 第36回会員大会について
当番分会の淡路分会の竹谷分会長より8月11日(土)ポートピアホテルで行われる会員大会につき説明があり、600名の参加を予定しているとの出席のお願いがあった。
つづいて長浜副会長の閉会のことばで終了した。

平成2年度在学者数(4月1日現在)

※()内は女子人数

学 年	大 学		大 学 院	
1	129	(49)	13	(4)
2	127	(31)	20	(3)
3	168	(34)	21	(0)
4	154	(39)	19	(0)
5	149	(24)		
6	181	(47)		
合 計	908	(224)	73	(7)

(次頁資料)

平成2年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会・分会長・支部長会・クラス幹事会の合同会が、平成2年7月7日(土)午後3時から兵衛会館4階会議室で開かれた。

合同会は定刻に志築専務の司会、小田副会長の開会で始められ、伊藤副会長を議長に選出した。議事録署名人に清水保則(長田区・専32天方孝彦(尼崎市・大4)両氏を指名した後、村井会長はあいさつで「本部同窓会は本年3月の役員改選で、奥野喜一氏を会長に再選し、津島(兵庫)、河上(京都)両氏の監事就任を決定した。兵庫県からも多数の先生方がそれぞれの役職に就かれ、その運営に携わっていただくことになった。

本部の現況であるが、学校法人の役員改選で4月から監事に就任し、早速、進学課程(牧野学舎)、附属技工士学校、本学専門課程(天満学舎)、附属病院、OMM診療所、附属衛生士学校などの設備をくまなく視察した。

本学建造物について将来キャンパス構想検討委員会で検討中であり、現有地(約2,000坪)を利用しながら順次建て変えて行く予定である。

平成2年度在学者数(資料別掲)について、資料の通りであるが、平成5年には約770人の学生数となり、現在より140人余りの減となる。

現在、908人のうち224人が女子で24.7%を占めている。また、教職員482人を擁するため学生2人に対し1人の教職員が担当することになり、今後は学生数の削減と同時に大学勤務の教職員の削減も検討しなければならない。

学校用地、基本財産についても詳しく監査したが、学校経営は極めて安定している。

平成3年5月31日に創立80周年記念式典を大学講堂で催し、翌6月1日に全国会員大会を大

阪で行う予定にしている。

最後に、笠原義人氏退官記念として本同窓会から記念品料を差上げたが、後に、本人から同窓会の基金として利用するよう申し出があり、主旨を生かして、学術研修基金として活用するなどの案を協議願いたい」と述べた。

報告

1) 会務報告(志築専務)

会員数 1,503人

役員会 平成2年4月7日(土)

総会 平成2年4月7日(土)

物故会員 奥井 勝美(洲本・賛正)

高津 輝雄(洲本・医)

佐竹 正世(氷上・専6)

鈴木 要輔(長田・専14)

2) 会計報告(三坂常任理事)

平成2年6月30現在の収支現況(別掲)を報告

3) 本部報告(志築専務)

平成2年3月3日 本部理事会・総会

平成2年7月14日 常務・理事会予定

平成3年5月31日 大学80周年記念式典

平成3年6月1日 全国会員大会(ホテルニューオータニ)

協議

1) 第36回会員大会について

7月7日現在の大会参加数資料について検討し、追加参加を促すため、7月20日を最終締め切り日とした。

2) その他

① 平成3年度は6月1日の全国会員大会出席に換えるため延期とし、平成4年に播磨分会当番で開催する。

② 笠原義人氏の寄附金受入れについて、学術研修基金を設立し、基金の利益を奨励金として運用する。

平成2年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出現況報告書

収 入 額 8,399,467円
 支 出 額 3,775,307円
 差 引 収 支 差 額 4,624,160円

収 入 の 部

平成2年6月30日現在

科 目	収 入 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	7,818,000	17,040,000		9,222,000	月1,000円×12ヵ月×1,420名
第1項 会 費	7,818,000	17,040,000		9,222,000	
第二款 雑 収 入	132,000	1,551,000		1,419,000	
第1項 雑 入	0	30,000		30,000	預金利子
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本 部 手 数 料	132,000	1,520,000		1,388,000	10,000×1,420名×10% 本部より過年度分100名含む
第三款 繰 越 金	449,467	449,000	467		
第1項 繰 越 金	449,467	449,000	467		
合 計	8,399,467	19,040,000		10,640,533	

支 出 の 部

科 目	支 出 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	966,592	4,550,000		3,583,408	
第1項 事 務 費	210,000	2,150,000		1,940,000	
第2項 旅 費	446,210	1,200,000		753,790	
第3項 通 信 印 刷 費	176,680	800,000		623,320	
第4項 消 耗 品 費	88,264	300,000		211,736	
第5項 雑 費	45,438	100,000		54,562	
第二款 会 議 費	1,116,268	3,000,000		1,883,732	
第1項 会 議 費	1,116,268	3,000,000		1,883,732	
第三款 事 業 費	1,692,447	11,000,000		9,307,553	
第1項 学 術 費	0	500,000		500,000	
第2項 広 報 宣 伝 費	352,160	1,000,000		647,840	
第3項 福 祉 厚 生 費	169,595	3,000,000		2,830,405	
第4項 会 務 連 絡 費	0	1,500,000		1,500,000	
第5項 表 彰 慶 弔 費	246,610	1,000,000		753,390	
第6項 諸 見 舞 金	0	1,000,000		1,000,000	
第7項 渉 外 費	924,082	2,000,000		1,075,918	
第8項 時 局 対 策 積 立 金	0	1,000,000		1,000,000	
第四款 予 備 費	0	490,000		490,000	
第1項 予 備 費	0	490,000		490,000	
合 計	3,775,307	19,040,000		15,264,693	

現 金 119,986 定期預金 3,000,000 立 替 金 300,000
 普通預金 1,264,174 預 り 金 60,000 合 計 ￥ 4,624,160 ※仮受金 4,230,000

神戸ポートピアホテルに500名が集う

第36回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会新入、新卒歓迎会

平成2年8月11日 神戸ポートピアホテル
当番 淡路分会

第36回を迎えた大歯兵庫県同窓会会員大会は、淡路分会のお世話で、平成2年8月11日(土)午後3時より、神戸ポートピアホテル大輪田の間で開催され、500名を越す会員が参加して親睦の輪をくりひろげた。

大会は午後3時より志築専務の司会により、伊藤副会長が開会のことばを述べた後、村井会長のあいさつにうつった。

《村井会長あいさつ》

大阪歯科大学兵庫県同窓会の第36回会員大会を開催致しましたところ御来賓の方々には、お忙しい中にも拘わりませず遠路のところご臨席下さいまして誠に有難うございます。

また会員の先生方には例年にも増して多くの方がご参集下さいまして有難うございます。新卒業生の皆さん新らたにご入会になりました同窓の方々ようこそお出で下さいました。心から歓迎申し上げます。

わが母校大阪歯科大学は現在1万名余の同窓を有しておりますが、兵庫県におきましても1500名の仲間が健在であります。兵庫県同窓会は同窓会本部と緊密な連絡を保ち、母校の発展をたすけ、会員の福祉と相互の親睦をはかるとともに歯科医学の研修につとめることを目的として今日まで活動を行って参りました。現在歯科界は高齢化社会への歩みの中で、きわめて厳しい環境下にあります。しかし、私達は歯科医師という尊い価値ある職業を目指して母校で勉学して得た知識と技倆を社会のために役立てなくてはと考えております。

やがてあと10年で21世紀を迎えようとする今、新しい世紀はもう手の届くところまで来ているのです。そして、それは確実に超長寿社会なのであります。歯科医療は益々その役割りを

発揮し、社会は益々その価値を評価する時代であります。

このような時代に確実に対応するため、私達は一層親睦と団結をはかり、皆で力を合わせて幾多の困難な課題を克服して行きたいと存じます。

大阪歯科大学は来年創立80周年を迎えます。5月31日には創立記念式典が行われ、その翌日6月1日には同窓会の全国会員大会が開催されます。皆さんこそこれにご参加下さいませよう今からご予定頂きたいと存じます。

本日開催致しました会員大会は県下の同窓が一同に会し親睦と団結をはかる絶好の機会でもあります。新卒業生の皆さんも新入会員の方々もどうかこのさわやかな雰囲気をよくご覧下さい。

本大会を開催するにあたりまして準備万端に大変なご苦勞をいただきました淡路分会の先生方ならびに関係者の方々に心からの感謝を申し上げます。ごあいさつと致します。

志水常任理事による来賓紹介につづき、来賓の奥野喜一同窓会長(代読)より以下の祝辞があった。

《奥野会長祝辞》

本日は、大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会並びに新入、新卒会員歓迎会にお招きいただき、心から厚くお礼を申し上げます。1、2ご報告と新入、新卒の皆様に対し簡単に(はなむけ)の言葉を申し上げ祝辞に代えたいと思います。

従来より長い間、同窓会が単なる親睦団体であると強く言われてまいりましたが、歯科界の現状を考え、将来を洞察いたしまして、敢えて同窓会の目的に歯科界の発展につとめるという

第4の柱をたてて、同窓会が歯科医政にタッチしていく目的を謳(うた)う会則の改正を、去る、平成元年3月の定例総会でさせていただきました。さらに同窓会の組織強化と活性化のために発想転換を計りまして、地域別、支部会長並びに卒業年次別クラス会代表者の方々と膝を交えて懇談を続けさせていただきました。大変有意義な会合であったと思っておりますので、今後も続けていきたいと思えます。

また、本年3月3日には不肖私に会長再選の栄を賜わりましてひきつづき同窓会をおあづかりすることになりましたので新年度より2つの目玉をつくらせていただきました。その1つは、同窓会目的の第一にかかげている大学の発展をたすけるということにつき、今回は大学の研究助成を側面的にバックアップしていくため、積立金を始めることにいたしました。来年、大学は創立80周年を迎えますが、それに至る経緯の中でどの程度の研究助成のための積立金ができるか検討を続けていかねばならないと考えております。

次に、本年4月から全国的に生涯研修が始まっておりますが、各府県の支部に対し研修のための補助金を僅かながら予算化いたしました。

この2つの新しい事業を加えまして、新年度の事業展開を進めて参りたいと思っております。更にまた、平成3年5月31日には大学創立80周年記念事業が行われます。翌日の6月1日には第11回全国同窓会会員大会が開催されることになっております。大阪府同窓会にその準備一切を一任いたしました。ただいま着々と具体的に進んでおります。兵庫県同窓会の先生方には、来年6月1日の会員大会出席を今から予定しておいて下さい。宜敷くお願い申し上げます。また新入・新卒の会員諸君にはこの度おめでとうございます。

こんなに先輩達が諸君を歓迎し喜こんでくれ

ております。きびしい歯科界ではありますが、どうか勇気をもって堂々と進んで下さい。困った時には先輩に遠慮なく相談したり助言を求める積極性を発揮して下さい。諸君の健闘を心から祈ります。

最後に兵庫県同窓会の益々のご発展と本日お集まりの会員の皆様のご健勝をお祈りいたしますと共に、今後とも本部同窓会へのご協力を心よりお願い致しましてお祝いのことばといたします。

つづいて、稗田大歯大学長、平井近府県同窓会代表、加子県下各大学同窓会校友会代表よりそれぞれ祝辞があった。

今年は新入会員は6名、新卒業生は13名で美田常任理事より紹介され、片山豊君が代表して謝辞を述べた。

新入会員

片山	豊	栗田	隆史
藤原	正己	正井	達
尾崎	司	大迫	勝

新卒業生

井波	真紀子	嘉ノ海	秀昭
杉井	則夫	関谷	幸之助
南木	勲	中田	美和
中村	義盛	長砂	孝
橋谷	義尚	本家	朋子
牧野	容子	守内	伸行
山本	陽祐		

(敬称略)

竹谷淡路分会会長の当番分会長あいさつにつづき、次期当番分会長の嘉ノ海播磨分会長よりあいさつがあって大会式典は終了した。

アトラクションとして、洲本奴連の方々による「淡路奴だこ踊り」があった後、懇親会にうつり今年も好評の卒業年度別のテーブル配置で、時間のたつのも忘れて懇親の輪がひろがった。

第 36 回 会 員 大 会

平成 2 年 8 月 11 日
於 神戸ポートピアホテル



大会セレモニーで挨拶する村井会長



「清澄雲に映る縁」

——学歌斉唱



「ご卒業おめでとう」村井会長より記念品を受ける新卒者



稗田学長の音頭で乾杯



淡路奴だこ踊り（洲本奴連）



宴会たけなわ



神戸分会

神戸分会では、6月30日に第1回総会を開催いたしました。その準備に際し各地区の会長が快く相談役をお引受け戴き、各支部長にも格段のご協力をいただきました。当日は雨中にも拘わらず、多数の会員の出席を得、総会では協議をお願いした会則、会費等案件のすべてを満場一致で承認をいただきました。今後は、われわれ役員一同力を合わせ年1回の分会総会には一人でも多くの会員の参加を願い、親睦の輪を広げ大阪歯科大学兵庫県同窓会の発展のため努力してまいります。よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

終わりに臨み永年お世話を賜りました岡田前神戸分会長、南木理事に心からお礼申し上げます。(神戸分会長 飯田 浩司)

神戸分会役員名

役職名	氏名	卒回	氏名	卒回
分会長	飯田浩司	(大5)		
副分会長	一瀬健二	(大6)	記村恭造	(大6)
	〳		三坂明美	(大7)
理事	橋本猛伸	(大12)	川口 豊	(大12)
	〳		滝本 譲	(大13)
	〳		板倉紘一	(大16)
	〳		浜田邦夫	(大16)
	〳		藤田義人	(大19)
	〳		溝井啓泰	(大26)
	〳		岸 和久	(大26)
	〳		中塚 要	(大28)
監事	守内道信	(大5)		
	〳		宮本弘義	(大8)

- 相談役 稲垣真也(専21) 寺西敏一(専25)
- 〳 岡田一三(専20) 橋川 司(専28)
 - 〳 西海啓之(大7) 前田孝俊(大5)
 - 〳 四柳嘉清(専32) 石橋 勝(大15)
 - 〳 増田 孟(大3) 湊 信一(専18)
 - 〳 北川重信(専19)

神戸分会東灘支部 総会報告

日時 平成2年7月28日(土) 午後5時

場所 オリエンタルホテル 1F 桜の間

会員数71名のうち出席者37名

議 事

1. 平成元年度収入、支出決算の承認を求める件……承認
2. 支部長、監事改選の件
三坂支部長、関川 健監事 留任

午後6時から懇親会に移り兵庫県同窓会、神戸分会並びに東灘歯の他校の代表の先生方のご出席を賜わり盛会裡に終了した。

出席者名

ご来賓(3名)

兵庫県同窓会会長 村井 俊郎先生

〳 専務理事 志築 照和先生

神戸分会長 飯田 浩司先生

東灘他校ご代表(11校)

日歯大 細見忠雄先生、東歯大 榎阪 敏先生

愛大歯 登利俊彦先生、九歯大 永末勝利先生

日大歯 沼田昭浩先生、神奈川歯 大倉治子先生

朝大歯 小松芳樹先生、明海大歯 吉川涼一先生

東医歯 松田貴久治先生、阪大歯 下田重行先生

松本歯 岩本正人先生

東灘支部 37名

厚味(真)、飯田(昭)、石田(稜)、石田(浩)

石崎(彦)、石崎(順)、稲垣、井上(昌)、上田、大川、奥野、河村、神田、小宮山、柴、佐藤、芝辻、下井田、杉本、関川、高橋、滝本、中尾、中川、中村、花岡、浜田、林、一ツ町、藤本、古市、松戸、三坂、向仲、森(良)、森本、米田、

神戸分会垂水支部

平成元年度総会開催

平成1年度の垂水支部総会は、兵歯会館にて行われた生涯研修の後、今年会場を中央区に移し、中華料理雅苑海鮮家において下記日程により行われた。

垂水支部総会日程

日時 平成元年8月11日 PM5:00

場所 中華料理「雅苑」

司会 吉田 欣也

1. 記念品贈呈（贈前支部長 越村登志彦氏）
1. 挨拶 支部長 藤井 昭
1. 新入会員紹介 吉田 欣也
1. 報告
庶務報告 井上 泰介
神戸分会報告 板倉 紘一
会計報告（現況） 糸永 茂雄
1. 議題
平成元年度会計の承認 糸永 茂雄
会費徴収について（含神戸分会費）
糸永 茂雄
1. 協議事項
1. 会員大会について（8月11日）
1. 大歯80周年記念式典について
1. 閉会 坂口喜史夫

懇 親 会

司会 六島 嘉一

1. 挨拶 藤井 昭
1. 来賓挨拶
大歯県同窓会副会長 伊藤 彰彦
神戸分会長 飯田 浩司
垂水歯会長 四柳 嘉清
1. 乾杯 堀家 吉夫
1. 閉会 水田 吉彦

今年度の垂水支部総会は、生涯研修日の当日とあって、会場を中央区の中華料理「雅苑」にて講義の疲れもいとわずに開催された。

総会は、吉田欣也先生の司会により始められ、先ず、永年垂水支部長を務められた越村登志彦先生（専21回）に記念品として絡線人形時計を贈り感謝の意を表した。

藤井支部長は挨拶の中で、垂水支部、兵庫県同窓会、最近の母校の現状と、来春は大歯創立80周年記念式典と全国会員大会が開催されることを報告した。ついで新入会員の紹介を行い、庶務、会計、神戸分会報告があり、本年度の議題の審議に移り、各議題を審議の上可決承認し、坂口喜史夫先生の閉会の言葉で終了した。

懇親会は、大歯兵庫県同窓会副会長伊藤彰彦先生、神戸分会長飯田浩司先生、垂歯会長四柳嘉清先生の3氏を迎えて行われ、3来賓の挨拶の後、出席者の最長老である堀家吉夫先生の音頭で乾杯が行われた。懇親会は詔興酒のメートルが上がるに連れムードが盛り上がり、各自が近況を交えて自己紹介を行い、亡き先輩の思い出話、学生時代の旧悪……？等に花が咲き、和気藹々裡に時間の経つのを忘れ、水田吉彦先生の「今の歯科界は軟弱だ、政治的にもっと強くなってほしい」との力強い閉会の言葉により会を終了した。



神戸分会明石支部同窓会

明石支部同窓会は、川口支部長以下新執行部により韓国の歴史探訪ツアーを企画。

ゲストに他大学より3名の参加を得て、歴史に興味を持つ者総勢13名で2泊3日（9月14、15、16日）のツアーに出發。

景福宮を経て国立博物館へ、ここでは時を忘れて熱心に見学、予定時間を大幅に超過して次の地へ。夜の宴会は地酒と韓国料理で、先輩後輩の別なく和気あいあい。

帰明すると出發前の残暑もウソのように、秋の気配も急。翌日の診療に意欲も新たに無事散会。（水田 象介：記）

西宮分会

平成2年8月末現在で会員数151名、西宮市歯科医師会の243名のうち、62%を占めています。当分会には、会則に当然のことながら同窓会本部及び兵庫県と同様、共通の目的と事業内容の規定がありますが、会計年度だけは6月1日より始まります。これは、西宮市歯科医師会と役員改選が同じ年に重なった場合を考慮している訳です。決算の関係で、今年6月に開催された総会において、体調が思わしくなかった永井会長の後を受けて、分会長に選出されました。今後ともよろしくご指導の程お願い致します。

矢張り、言うまでもなく会員同士、人との交流は大切なことと思いますので、その機会を出来るだけたくさんつくりたいと考えておりますが、同窓会以外にいろいろと会合がある中で、レクリエーション等どうしても年1回の開催になってしまいます。

当分会では、敬老の日に70歳以上の会員の方々に敬意を表して、お祝いの品を贈ることになっておりますが、新執行部もこれを受け継ぐ方針にしております。

とにかく、同窓会は、人間関係の基盤をつくり、ひいては組織力の強化にもつながることと思いますので、会員交流の中で、それぞれ自身自身の考えを忌憚なく話すことの出来る場、環境がいつも必要です。人間社会で、ともしれば生じやすい誤解は、親睦の妨げにもなり、例えば口角泡をとばす激論になったとしても、冷静に人の意見に耳を傾け、そして、後は何ごともなく酒を酌み交しあえる会員同士でありたいと考えています。(西宮分会長 安留 力)

小野加東支部

さる8月11日(土)大阪歯科大学兵庫県同窓会第36回会員大会が、神戸ポートピアホテルにて開催されました。

毎年出席するのですが、年々盛大になって来ていると思います。普段あまり会うことのない同窓生との1年1回の出会いを大変楽しみに、

A君のことB君のこと、そして健康のこと、旅行のことといつまでもつきることなく話はずみ、来てよかったと思うのです。

当支部では、長老の石原貫一先生、栗林高季先生が亡くなられ大変淋しくなりました。最年長と言うことで不肖私が支部長を引き受けております。

小野加東歯科医師会では、以前会員の80%が大歯卒業生であったのが、現在は会員が大幅に増加しているにもかかわらず他校との比率が約半数になっています。会員相互は学閥にとらわれることなく大変仲良く会務に励み年間5、6回はゴルフを年1、2回は旅行にと楽しい支部を作っています。大歯の比率が低下したとは言っても、やはり一番多いのですから若い会員が増々団結して研修、親睦を深め他校のリーダーとなって大歯同窓会の発展のために努力してほしいと願っています。

(小野加東支部 原 要次)

三原支部

9月に入ったとはいえ残暑厳しいこの頃ですが、会員の皆様いかがおすごですか。先般8月11日の大歯兵庫県同窓会会員大会には多数の会員皆様のご出席をいただき担当分会の一員として厚くお礼申しあげます。さて、三原支部の会員は現在13名ですが、現役を退りぞかれた先生が2名、その他世間一般の例にもれず高齢化が進み、70歳以上の先生が5名、60歳以上の先生1名、50歳以上の先生が3名、残り4名の先生方も全員40歳で1名も30代の先生がおられません。このように若い先生方の同窓が非常にすくなっている現状で、三原支部としましては非常にさびしいかぎりです。淡路分会が先般の調査では、人口と歯科医の比率が県下で第2位とのことですが、私達同窓の会員が少なくなっているということは本当に残念なことです。

さびしい世間の状況に対応出来ますよう当支部会員も一生懸命がんばって行きたいと思っています。今後共よろしくご指導のほどよろしくおねがいします。(三原支部 糸田 英俊)



専5回

9月1日、大阪歯科大学兵庫県同窓会より通知がありクラス会の活躍状況等を寄稿して下さいとのことで、早速、大阪市の西田芳太郎君と沢田政紀君とに電話しましたが、両君とも言語不調にて何のお役にもなれずただ生きているだけだとの悲しい返事でした。名古屋の徳田善右衛門君は永い時間をかけてやっと電話口に、7月に家で転んで右膝を痛め寝たきりですが、君よりの電話に懐しくやっと電話口に出たとのこと、一日も早く全快を祈ると共に同級生の様子を伝えました埼玉県川越市の柳生嘉雄君も歩行困難と耳が遠くて電話口には出られんが気力だけは元気だと皆さんに伝えてほしいとのこと。伊勢市の金剛暁君も同様の状態ですが、長男次男共に同市で開業してる由にて、娘さんも同業とかの結構な話でした。愛媛県今治市の田中仁一君も4年前より長男に医院をまかせて暢気に暮らしてる由。名古屋の中原久夫君も同様とか誠に寂しいかぎりです。私の番になりましたが、昭和62年の秋、軽い脳硬塞に倒れ医院を坪田先生に譲り、現住所にて療養中ですが、だんだんと元気になりましたが、近頃では頭がぼんやりして、もの忘れがひどく週1回近くの亡き娘婿の内科医院に検診と点滴に徒歩で15分通院してますが恍惚の人になりそうですが、まだまだと頑張るつもりですから宜敷くお願いします。

平成2年9月13日

(専5回生会 橋本 六也)

専18回 『遅く生きる長寿者に学ぶ』

今夏は半世紀ぶりの驚異的な猛暑の連続で、本格的な秋の足音は未だ聞こえそうにない。早くクラス会の開催をと気に掛けながらも、意の如く運ばず誠に申し訳もなく、お許しを乞う。先日、前田竜夫君から頂いた丁重な暑中見舞状の中に、生理的限界を越えた炎暑だが命続く限り、天職を完うすべく頑張っているとの力強いもの、改めて励まされたが、来年の18回生クラス総会は秋に三重県当番(松生・矢谷)で伊賀の上野に決定の由、また自分の住所が兵庫県と言うことで大阪のクラス会に入れて貰えず、是非神戸での会合には呼んで欲しいと、更に現在の心境一句「古稀よりの余生は我のものならず人の喜び見るが喜び」が筆太く書き添えてあった。

今年も「敬老の日」が近づき、テレビに放映される深い年輪を刻み込んだ屈託なく笑っている、百歳の老いてなお矍鑠とした明治人の、気骨ある顔が私達の胸を打つ。どの顔も感謝の念に満ち溢れ大らかに表情が楽しく明るい。時代は変わり、人の考え方が如何に変わろうとも信念に生きることの尊さには変わりはない。「人間にとって人生が戦いであるならば、まず長生きをしなければ人生の勝利者にはなれない」と言われるが、その長寿を支えるものは矢張り一人ひとりの健やかに生きる姿勢や意欲とたゆみない努力であろう。より良い環境を築くための友情の中で、互いに出し合うもの、それは物や金でなく、いたわりと思いやりの友愛の真心だと思う。皆さんのご健勝を心から祈念します。

(湊 信一)

専21回

(1) 平成元年総会について。10月21日、当番県は愛知、岐阜で、愛知の青木君、岡田君、服部君、岐阜の亀谷君が周到な準備の下に21期生を全国から多数集めてくれました。場所は名古屋のロイヤルホテル弁天閣、中区栄町と言う所

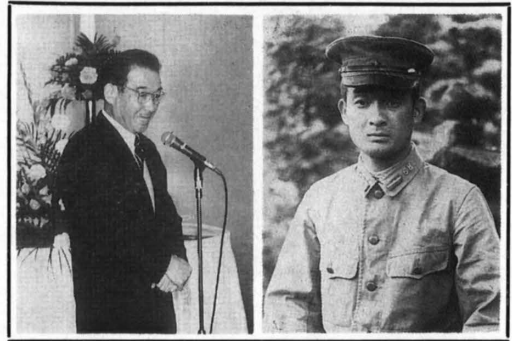
で、名古屋市街地の真中と言うか、ビル街の真中と言うか、附近には、東急ホテル、金谷ホテル、中部電力、NTT栄ビル、鹿島建設、東海テレビ、三越百貨店、テレビ塔等があり、正に中心地でした。出席者は、家族も含めて47名、このうち兵庫県からは、稲垣、小笠原、黒坂、野草、林、大塚、堀家、小寺、大塚夫人、堀家夫人の10名で、全員の20%以上の出席率でした。

この時、出席していた安村君が去る5月31日に亡くなりましたことは誠に残念なことでした。慎んでご冥福をお祈り致します。

総会及懇親会終了後、同ホテルで一泊、翌日は貸切バスで市街観光を行いました。まず徳川美術館では、尾張徳川家伝来の名宝、大名の生活と文化等を見学し、また折しも名古屋で「デザイン」博が催されています、白鳥会場、名古屋城会場、港会場の3会場の入場券も用意して、それぞれ各自見学しました。

(2) 平成2年総会について。今年は京都が当番です。10月19日、京都国際ホテルに集合、二条城、西陣織会館等の観光を計画しています。幹事代表は三村親邦君です。

(3) 矢作会兵庫支部では、去る6月9日集合し、2月24日のクラス幹事会の報告を行うと同時に、8月11日の第36回会員大会に多数出席するよう勧誘しました。この時の出席者は、稲垣、林、野草、小笠原、辻、岡田、小寺の7名でした。
(小寺：記)



専23回 故達谷喜信君を偲ぶ

7月8日、達谷喜信君死去の報、一瞬我が耳を疑う。クラスメート各方面への連絡は上村君と分担のネットワーク。10日、灘区理学院での告別式の葬儀委員長を、村井会長におつとめ頂く。私は、23回同期生代表として弔辞を捧げることになる。

思えば、われわれ23回生の卒業は戦争たけなわの昭和17年9月、卒業式後旬日を経ず多くの級友たちはそれぞれ陸海の軍務に赴いた。

篠山中部68部隊に学徒兵として入った私と同中隊に達谷君がいた。しかも同じ内務班に寝台を並べる戦友として日々の演習訓練に常に目と目で励まし、励まされる位置での初年兵生活のなかで共に甲種幹部候補生に合格。熊本陸軍予備士官学校に進む。課程卒業、見習士官になりまたまた原隊附で二人篠山に帰ったとき不思議な運命のようなものを感じた。その直後、彼が編成に加わった狼兵団はビルマ戦線に投入され雲南作戦に参加、玉砕寸前の龍稜、平戩に孤立する友軍、守備隊を救出した戦功は部隊感状に輝いたが、わが方の犠牲損害も大であった。彼の体に残る数個の弾片は、この時の勲功を静かに物語っている。

後方に收容され終戦後、彼の得意のハーモニカは、当時いつの帰国か、あてのない心荒む收容所の将兵達の心に滲み入り演芸隊を編成、やがて故国に帰る日までとは、つねに前途に明るい希望の灯を掲げていたことは正に彼の面目躍如、幾多あるビルマ戦記の中の数編に実名あるいは仮名でその記述を見る。

後年、たとえ酒席で演じられる余興の芸に対しても、観る側としてのマナー、エチケットに厳しい見識を見せていた彼の何処かに、あのビルマ演芸隊の真骨頂を伺うことができるのではないか。

先年来、私方娘、ついで息子の婚礼の祝辞代わりにと、しみじみとハーモニカを演奏してくれた。曲も「お江戸子守唄」今やふたたび聴くすべもない。
(八竹 良清)



専24回（兵庫県にしき会）だより

私たち専24回の兵庫県在住は現在15名です。兵庫県にしき会では、年1回コミュニケーションの場を持ってあります。平成1年度は、10月14日（土）に三ノ宮「三輪」で催しました。出席者は、内海、親里、的場、川西、古谷、岡野諸兄と私、等7人です。卒後47年、皆んな㊦や㊧になり、的場兄も春先き2か月程入院されておられたが、現在は元気になっておられます。木村善述兄も療養に専念されておられる。内海兄は、奥さんを去る8月31日に亡くし、また本人も6月頃から入院中であり、1日も早くダブルショックから立直って戴きたいと祈っております。なお、葬儀の節は同窓の先生方には、お世話になりました。松本、塩見兄は元気に歯科医師会の要職で頑張っておられます。その他の諸兄、大なり小なり故障を訴えておる人も増えて来ました。県外では本年に入って、中田亮平（大阪）、武田良静（京都）、足立正一（愛媛）、西本哲一（石川）兄が多界されました。

兵庫県にしき会としては、本年度はまだ集まっていないが、9月22日（土）兵庫県の当番で有馬グランドホテルで、にしき会の全国総会が開催され、夫人同伴で30名程集まることになっており、翌日、有志で大平洋クラブ六甲コースでゴルフも楽しむことになっております。

今回は暗いたよりになっていました、お互い健康に留意して頑張りましょう。

(遠藤 哲雄：記)

専25回

久しぶりに大阪歯科大学専門部25回生が一堂に集まって一緒に飯でも食べようと、去る7月20日（金）神戸駅前の三輪に夕方5時に集まった。何分お互いに忙しく、また老齢化して病死とかで集まった者は、島津徹、田中英男、寺西敏一、中村寧、中村要、村井俊郎、森本隆一、山本隆、井上正夫で、楽しく学生時に帰ったようだった。念のため現在25回生は兵庫県では20名、今後共、年に一回はこのような会を持ちたいと思う。

専26回

本年度の二六会総会は、9月22日（土）大阪は北の多幸梅で開催された。32名の出席で兵庫県からは足立、河合、田村の3名でした。総会の前に大阪府議会前議長 野上君の如何にも議員らしい早退の弁があり、予定より遅れの開会となる。堀野君の司会で、先ず今年天界に召された3名を含め物故者に黙悼を捧げ、議長に多田君を選び議事進行。矢谷代表のあいさつ、奥野同窓会長のメッセージ、前学長森君の学内報告—その内に彼の退官記念祝賀会及び日本歯科医学大会会頭としての報告もあり、何れくわしくお知らせします。—と続き、会務、会計、決算の諸報告及び監事報告をすべて了承、引き続き協議に入った。先ず次期代表及び役員選出については田村より提案し、現矢谷代表に引き続きお願いし、役員も代表に委託することが賛成

となり決定、矢谷君のあいさつがあった。次に来年度総会開催地の件となり、矢谷代表から兵庫県にお願いしたいとの提案を会員が賛成の拍手があったため、足立、河合君と協議の上、小生から引き受ける旨のあいさつを致し、全議事を終了しました。閉会の辞と来年神戸での総会歓迎の言葉を田村が述べ総会は無事終わりました。懇親会は和やかに45年前の学生になった姿があちこちに見られ、校歌合唱で締めくくり初秋の宵の再会を期して別れてゆきました。

以上、総会報告を致しましたが、近々兵庫県内同窓者が集まっているいろいろご相談致し度くご案内致しますので是非ご出席下さい。何卒健康には十分気を付けて元気な顔を合わせたいと希望しています。(田村：記)



専27回 牧陵会だより

昨秋には故中塚博美君を野辺に送り、片腕を取られたような中を、クラス会の総会を神戸に於いて無事に終了出来て学友と協力に深く感謝して、ほっとした1年でした。

平成2年の8月に兵庫県同窓会の大会には、稗田学長を来賓に迎えて、洲本の高津君等の担当で、盛大に行われましたのに級友10名で参加させて戴きました。

以上報告ですが、本年度より、兵庫区の高端友之君がクラス幹事として、小生と交代をお願いし、長年ご協力を深く感謝しますと共に、今後共、高端君を助けて一層明るい、楽しい会として発展して行きたいと考えておりますので、よろしくお願いします。(西原：記)

専31回 みそひと会兵庫県支部

平成1年度、総会盛大に開催!!

平成1年度のみそひと会兵庫支部の総会は、平成2年8月11日(土)大歯大兵庫県同窓会の会員大会の会場において下記日程にて行われた。

総会日程

日時 平成2年8月11日PM3時

場所 ポートピアホテル

- 1. 開会のことば 藤井 昭
- 1. あいさつ 支部長 宮坂与四郎
- 1. 報告事項
 - 1. 庶務報告 藤井 昭
 - 1. 会計報告(現況) 田村 光雄
- 1. 議事
 - 1. 平成1年度決算の承認 田村 光雄
 - 1. 平成2年度会費徴集について 田村 光雄

- 1. 協議事項
 - 1. 弔費の取り扱いについて
 - 1. 見舞金の取り扱いについて
 - 1. その他
- 1. 懇親会
- 1. 閉会のことば 生内 三実

みそひと会兵庫県支部の平成1年度の総会は1人でも多くの出席をするためにということで、大歯兵庫県同窓会の会員大会の当日、懇親会の席で総会を行うことになり、小田一尚、三浦三義、小坂修、戸田佐一、榎本時寛、生内三実、増田勝美、宮坂与四郎、田村光雄、藤井昭が出席して行われた。(順不同)

みそひと会の総会は、ポートピアホテルの大輪田の間で行われ、今年度の当番である淡路分会の企画による淡路奴連の「奴風踊り」でムードが盛り上がった頃、みそひと会兵庫県支部の総会は藤井の司会により始められた。

宮坂支部長は「本日は多数出席いただきありがとうございます。皆様のご協力により1カ年会務を無事運営出来たことにお礼を申し上げます。また菊地君が体調を悪くして検査入院されました。お互に健康に留意して下さい」と挨拶があり、庶務報告(藤井)、会計報告(田

村)を行った後、議事に移り、平成1年後歳入、歳出決算を可決承認した。協議事項として、見舞金と弔費の取り扱いが検討され、

1. 本人傷病の場合の見舞金
1. 本人の場合の弔費
1. 同居親族の弔費

以上の3項目についてそれぞれ承認された。

昨年11月より療養されている三木正軌君と報告にあった菊地豊君に見舞金を贈ることを決めた。

1か年ぶりの集まりであるが、還暦経験者…?が多くなると出る言葉にも健康に話題を見つけることが多く、一見、学生時代の面影ながら、一言、一笑にも卒業以来30有余年の歳月を感じさせられる同窓です。療養中の同窓、体のトラブっている同窓の安否を気付ける話題が多く、色っぽい話など何時したかという面々となりました。

いつまでも元気で頑張ろう。年末には忘年会を行うことを決め、散会した。

(藤井:記)



専32回

兵庫県32会の皆様ご清栄のことと思います。

7月上旬にお知らせしましたように第39回全国大会は、来年兵庫県当番で開催することになりました。8月11日(土)の神戸ポートピアホテルでの会合の席上、大体の準備原案を森本君、仲田君と共に発表させていただきました。

現在のところ、

日時は、平成3年6月1日(土)午後6時より
場所は、新神戸オリエンタルホテル
と決定。

なお、場所の選定に関しては、有馬、姫路、伊丹方面といろいろありましたが、交通の便が最良であり(新幹線 新神戸駅直結、JR三宮駅、各私鉄三宮駅に近く、地下鉄直結等)当ホテル36階よりの100万ドル眺望は抜群であり、地下3階にわたる6階の間は200に近い店舗、飲食店が夜おそくまで営業しており、神戸の行動拠点と考え決めた次第です。全国の友人の多数参集を実現するため是非、兵庫県の皆様にも協力なご協力をお願いいたします。総務・渉外(P・R)会計・宿泊と、それぞれお世話係を分担しますので手伝って下さい。来る10月13日(土)は、大阪にて全国32会の連絡会をもちます、結果はまたお知らせします。

われわれは60歳、大学の創立80年、クラス会は40年と人生の節目を迎えております。「忙しい」では心が亡びます。「ゆとり」をもって間口を全開にして自然体で多くの友と出会い、心豊かに共に感じ、共に動き「感動」を味わいたいと思います。皆様のご健勝を祈念してお会い出来る日を楽しみにしております。

(世話係 藤本)

大1回(一黎会兵庫県支部)

去る5月29日(火)神戸市元町の「やぶ亭やぶ鮓」に神戸在住の、小田、山中、上田(豊)、清水、山田(旺)の5人の諸兄が集まりました。

われわれのクラスは、専門学校より大学学部創立の切替期で67名と少ない人数で、兵庫県在住者も10名で、他クラスに比して少ないですが、それぞれ個性豊かで、趣味が豊富な学友が多いです。卒後30周年総会9周年記念クラス会を兵庫県在住のクラスメートでお世話をした時までは頻繁に会合を持っていましたが、その後やや会合を持つものにぶっていましたが、これから定期的に集まろうと言う話し合いや、6月の黎会総会が貴和荘で行われる件に対する協

力、また8月に行われる兵庫県同窓会の出席要請の話し合い等、最後は還暦も過ぎたこととて孫のこと、老後の生活や、後継者問題等々、最後には現代社会がかかえている問題提起など話は尽きずでした。(山田 旺：記)

大2回

平成2年度大2回兵庫県クラス会は、8月25日午後6時より、阪急塚口の中華料理店「愛連」において、12名の多数の出席により、開催致しました。尼崎の上野君の開会のことばにつづいて、本年7月に死去された、故安達一君の冥福を祈って黙祷を行いました。次いで吉田君の乾杯の音頭により宴会が始まり、学生時代の思い出や他府県の同窓生の消息など久しぶりの再会でしたので、時間の過ぎるのも忘れる程楽しく過ごしました。11月17日には、全国大2回クラス会総会が大阪の南海サウスタワーホテルにて行われます。なお一層のご参加をお願い致します。(佐々木 重夫)

大5回 五愛会

今年は特別暑い夏でしたが、皆様お元気ですか。五愛会例年通り6月16日、会長村井先生、専務理事志築先生を囲んで意義のあるクラス会がおこなわれました。また、8月11日に行われました大歯兵庫県同窓会には、ほとんどの五愛会の先生方の出席をみて、本当に楽しい一時を過ごしました。

皆さんの手元に、すでに案内がありましたように、今年は京都で11月10日、大五会全国総会がございます。五愛会の皆様も出きるだけ多くの方に出席して頂きますようお願いいたします。

また5年程前より西宮へかわってこられ、五愛会の会員でもある黒田先生が、8月1日付けで母校の教授になられたことをお伝えしておきます。(杉本：記)

大11回

平成2年11月10日(土)予定の大阪歯科大学士会(11回卒)総会の日程がせまってきました。現在出席の返信がありましたのは70名若で、貴和荘で十分楽しんでいただけたと思っています。

- 日時 平成2年11月10日(土)
- 登録 PM4:30
- 開会 PM5:00
- 場所 兵衛国保赤穂厚生寮「貴和荘」

以上の予定で決行すべく準備委員会17名が月数回相談のため集まっております。

年頭の兵士会総会(於神戸神仙閣)で当番県の兵庫県在籍の11回卒業生は全員参加を決めておりますので万障お繰り合わせの上、ご出席下さるようお願い申し上げます。

なお、案内状その他準備の費用の関係上、兵士会の先生方には参加費用を前納して下さいようお願いしました所、多数の先生がご協力下さいまして有難うございました。現在、来賓の先生方への招待状と他府県の出席予定の先生方への詳細案内状を発送すべく準備中でございます。

楽しく、なごやかな、士会総会になりますよう、兵庫県士会の先生方の一層のご協力をお願い申し上げます。士会準備委員会一同

(平成2年8月31日：記)

大12回 十二支会

「十二支会」兵庫県支部は、現在会員33名を数え、年齢も50歳を越える頃となり、各地方会や本会でも重要なポストでそれぞれ活躍しています。「十二支会」としては年2回の総会及び例会を開催しています。その都度、講師をおねがいして、歯学に関することから一般医学さらには芸術文芸といった分野のご講演を聞く会となっています。各会合には広く兵庫県各地から多数の出席者を迎え互に情報交換や近況を話しながら楽しい一時を持っています。

また、村井兵衛会長はじめ多数の兵衛役員の先生方をお迎えし、本会とのつながりを常に密とするように努めています。

講演会の後には夕食会が開かれます。開催地は、神戸ポートピアホテルを常場所として時間の許す限り交わりの輪が楽しく広がっています。

これからの多難な歯科界で、中心となって働いてもらえる人材を多く抱えている「わが十二支会」を誇りに思うと同時に大きな責任をも感じる昨今です。

(十二支会兵庫県支部会長 黒田 延彦)

大13回 兵庫登美栄会

昭和40年に卒業し、はや四半世紀が過ぎました。会員一同ますます元気に、仕事に遊びにと活躍しております。

平成1年10月21日午後5時から、総会を開き会則改正・会長改選を決議いたしました。今まで会長として活躍していただいた山口省三君に代わり、井堂孝純君を会長に再び選出いたしました。ひき続き大歯兵庫県歯科医師会副会長西田真和先生を来賓にお招きし、懇談会を開き楽しいひとときを過ごしました。

平成3年3月までの役員が次のように委嘱されました。

会長 井堂 孝純

副会長 山崎 宏

会計 古田 巖・高橋 靖昌

(庶務) 林 和彦、(福祉) 小西健介・内野一男、(総会・学術) 龍田安司・滝本 譲・原康昭・不動 譲・三木英幸・水野康朗・山口省三・山片重行

本年度は、会員の結束と融和をモットーに会を運営して行くこととなりました。

本年7月14日には、同級生の井上宏教授を講師に招き『日常の臨床に役立つ補綴関連の検査』と題し講演会をひらきました。

この会には、会員以外の先生方にも参加を呼びかけた所、50名にも及ぶたくさんのご出席をいただき、今更ながら学術の向上心のお待ちの先生方の多いのに驚きました。

お話は、咬合器について、ゴジックアーチ描記法・チェックバイト等について短い時間にていねいにしていただきました。

つぎの機会には、咬合器の具体的な使い方などを講演してもらう予定です。

10月10・11日には、小西幹事をチーフとして長崎方面に親睦旅行を、会員10数名集まりいたします。

朝、一路大阪空港を立ち長崎に着きオランダ村・長崎市内観光をし、夕食は内野幹事の世話で海の幸を賞味し、次の日は有田焼などを鑑賞し帰神するつもりです。

このあと12月には忘年会、来年3月には総会をいたす予定にしております。(林：記)

大14回 寿歯会

兵庫県寿歯会の皆様、お元気ですか。

8月11日、神戸ポートピアホテルで開催された兵庫県同窓会では、寿歯会出席者が7名で、少々寂しかったように思われます。

懸親会の後、寿歯会メンバー揃って、三の宮へくり出し、和気あいあい、楽しいひとときを過ごしました。席上、岡田君のシャンソン・ソロファーストコンサートが、予科のクラス会を兼ねて、9月8日、田崎ホールで催されると聞き、彼の隠された才能に、そしてしゃれた趣味に驚かされました。

小生、歌は好きですが、せいぜいカラオケ止まりですので……。

最近の歯科界の実情は、歯科医にとって、決して楽なものではなく、皆様、色々ご意見もあろうかと思えます。

しかし与えられた歯科医としての使命を果たすべく、健康に留意して頑張らねば、と自分を励ましている次第です。

また、皆様にお会い出来る日る楽しみにしております。(丸橋 瑠一：記)

大15回

暑いさ中の一日、同窓会大会で一年振りの顔、いつも顔だけは会わずが話しかける間のない顔、顔、に出会う。この日ばかりは、若やいだ顔と心に戻り、輝けるような目と声で満ちあふれていた。われわれ兵庫県いちご会同窓生（15回卒）は、嚼面鑄造縫製冠から全部鑄造冠へ、ブリタニアトレ・モデリング印象から各個トレ・連合印象へ、糊剤根充からポイント根充へと移り変わった良き進歩の時代(?)を知る者の集まりだ。

この集まりの中の一人ひとりが、いよいよ家庭において責任ある立場に、そして仕事の上でもさらに責任ある立場を迎えようとしている。その上に、今日の不透明な時代を迎えるにあたり、いかに進み行くかを各自が考えさせられようとしている。これからは、ますます心身の健康が一層望まれるところとなろう。お互い一人でも多く一年に一度は集まろう。

器が大きくて、心をいつでも開いてくれる友と語りあうためにも、かたや自分を叱咤し鞭うってくれる兵庫県いちご会の集まりに!

(文S記)

(会計より：平成元年度の決算報告書を郵送しますのでお目通しの程お願いします。)

大27回

前回寄稿以後の大学27回飛翔会の活動状況を報告致します。飛翔会としましては、大学卒業10年の節目の昨年9月30日、ホテルプラザに於て、奥野喜一大歯大同窓会長を始め、多数の来賓の方々の御臨席を頂き、盛大に同窓会を催しました。当日の出席者は100余名で、時間の許す限り旧交を温めました。当日の欠席者も含め、10年前に大学を巣立った217名の同窓が、誰一人欠ける事なく、歯科医師として社会人として、社会に貢献していることは、大変嬉しく誇らしいことです。10年の歳月は、友の腹、頭髮に代表される容姿変貌を、大なり小なり余儀なくしていますが、話し方、性格等は学生時代と何ら変わらず、アルコールによる酔いも手伝ってか、心地良い一時を過ごすことができました。

学閥、保守的という一面を否定できない同窓会も、これだから止められないと自分勝手に思いました。兵庫飛翔会としましては、昨年の電話連絡網の整備に続きまして、今年は後れ馳せながら、会則の作成に力を注ぎたいと思っております。兵庫県大歯同窓会のご指導の下、兵庫飛翔会が発足して4年が経過し、会員の理解も徐々に得られた今、会を定着させ、活動して行く基盤である会則が必要になってきました。

同級、同地域、少人数の同窓会らしい、簡単かつ良い意味でのルーズな会則が、作成できればと願っています。平成2年度、兵庫飛翔会の年1回の同窓会は11月17日に予定しております。その機会に、会則について、会員の皆様のご意見を聞きたいと思っておりますので、多数の出席お願い致します。(井口 利彦)

大28回 庚申会

兵庫県の庚申会の皆様お元気ですか。10周年行事には何かとご協力頂き本当に有難うございました。

兵庫県も10周年をすればよいのですが、昨年は兵庫県主催で全国大会であり、今年は大阪で10周年記念大会があって、これらに全力を注いで参りましたので、断念致しました。また何かの形、名目で兵庫県は兵庫県として実現できればいいなあと思っております。

兵庫県の庚申会が、今日のようにしっかりとした連絡網を確立し(皆様ちゃんと、いつでも電話の横に置いて下さいネ。)充実しておりますのは、この10年間の会員各位の努力の結果であります。色んな発案、ご意見等がありましたらよろしくお願い致します。

また急なお知らせ等々ありましたら、

(庶務)堀内 道郎君

(会計)安田 義信君

にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

今日の「庚申会兵庫支部」は、40名で成り立っております。10年の間には、色々とやって参りました。宝塚一泊、三木のグリーンピア一泊、フラワーセンター、ゴルフ同好会、忘年会、新年会、昨年の全国大会……年もとるわけ

です。20代の頃は、30代半ばの人をみると、「おじさん、おばさん」でしたが、いつの間にか、その年になってしまっていたということになります。

いついつまでもよりよき庚申会を目指して、皆様のご協力、ご理解をお願い致します。

これからも年一回は集まって、阿呆いいながら頑張ってください。

毎日少しずつ寒くなって参りましたのでご自愛下さいませようお祈り申し上げます。

最後になりましたが、忘年会が新年会の連絡がありましたら万障お繰り合わせの上お集まり下さいますようお願い申し上げます。 合掌

(永谷 敏：記)

P.S. 西宮へ行ったらサーカスライブ
芦屋へ行ったら焼鳥屋によりましょ
う。

大29回

今年の夏の暑さは格別なものでありますが、任玖会の皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、前々から話が出ました通り、年に1回の「飲み会」があります。

この会報が、いつ発行されるかわかりませんので、前もって電話連絡が入ると思いますが、一応お知らせ致します。

日時 10月27日(土) PM6:30より

場所 三ノ宮 カサブランカクラブ

TEL (078) 241-0200

会費 8,000円程度

出欠の連絡先は、清水孝治先生

TEL (078) 732-3461です。

なお、この会は任玖会の親睦を旨とするもので、年1回集まって酒でも飲もうという気楽な集まりですので、気軽に出席して下さい。

ちなみにこの会は、年会費なし、出席された方のみその時々の料理等により会費を決め、残金は翌年にプールします。

また、われわれ任玖会も来年で卒後10周年という節目を、大阪ホテルプラザで祝う予定ですので、その時も宜しくお願い致します。

(大29期生 赤井 高之)

但馬分会総会

各地における台風19号の爪跡も生々しい時、続いて20号の接近が報じられている9月29日(土曜)の午後5時より但馬出身の母校保存診断学教授、黒田洋生先生をお招きして豊岡市ホテル・サンルートに於て但馬分会の総会が開催された。

週末と月末の多忙な時にもかかわらず会員30名中、17名の出席を得て定刻に開かれ、淀幹事の司会、開会の辞で始められた。まず滝野会長の挨拶で今まで親睦会を主とした会合であったこの分会のあり方、運営について、これからは全会員より会費を徴収し、従って監事を選出して会計報告。会務報告。議事審議等、分会の総会のあり方を形の整ったものにした旨、発言があった。早速、議長の選出で河原忍先生に決定、議事に移った。

1. 会計報告、淀幹事が芦沢会計の代理で報告。
2. 監事選出、北但、南但両支部より1名宛。上田晴敏、武田隆夫両先生に決定。
3. その他、会員資格と会費の件で話し合いがあり各支部長に一任することに決定。以上で無事総会を終了。

次いで黒田教授にご登壇を頂き、教授ご就任を祝って記念品を贈った。黒田先生から全員に著書の歯科用語集が贈られた。続いて先生よりご挨拶があり、自分は今、西宮に在住しているが、小学校、中学校を但馬で過ごした思い出が強烈であり、但馬人であると自覚しているし、中学校の同窓会は懐しく今でも親しくしており、毎年同窓会には必ず出席するようにしておるとのお言葉でした。なお、母校の現状等について2、3話があり、母校との連絡、つながりのパイプ役として何時でもお役に立ち度いと話され一同感激しました。続いて別室に移動、黒田先生の教授就任祝賀会を荒垣北但支部長の挨拶で始め一同、先生を囲んで大いに懇親を深め、盛会裡に終始10時前に松岡美方支部長の閉会の辞。万歳三唱で会を閉じました。(荒垣記)

(原稿締め切り後到着のためこの欄に掲載しました)

平成2年11月1日

発行所 大阪歯科大学兵庫同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話 (078) 351-4181

編集発行人

志 築 照 和